



第5号

塩竈のソウルフードを伝える暮らし

workshop

塩竈汁や焼きガキ、地元産かまぼこを使った塩竈おでんなどが市民のソウルフードとして定着した。家庭でも地域の集まりでも食べる機会が多く、大人も子どもも大喜びする。

塩竈市では、まちづくりの方向性を描く新しい総合計画づくりを進めています。自分たちや子どもたちの世代が暮らしやすいまちに向かって、未来の100の暮らし方を考えるワークショップ（以下、WS）を開催しています。このWSで生まれた考えを新しい総合計画へ反映していきます。

第5回のWSを令和3年1月28日（木）に開催し、未来の暮らし方について様々な意見交換を行いました。この通信は各回で生まれたアイデアである「暮らしのカード」を広く共有する意味合いを込めて配布しています。

通信

第5回ワークショップから生まれた「暮らしの種」

第5回は「歴史・文化」をテーマに、副題を「趣が増す塩竈暮らし」として意見交換を行いました。話し合いでは、人が育む歴史、独自の歴史や新旧の文化を大切に考える考えなどが共有されました。

- ・船に乗る体験を観光の中心に
- ・「奥の細道」ルートを歩いてみる
- ・新たな箱物不要
- ・続いていくガマロック
- ・よし子の塩竈パレード
- 現存する名所・史跡の有効利用
- ・平間写真館がある
- ・常に港を身近に感じる生活
- ・津波の知見を伝承する暮らし

第4回WS「福祉：100歳まで生き生き暮らす」から生まれた暮らし（案）

第4回は「福祉」をテーマに副題を「100歳まで生き生き暮らす」をテーマとして意見交換を行い、その結果から以下のような「暮らし」化を行いました。

暮らしのタイトル	解説
本を使ったことば遊びを楽しむ暮らし	図書館や美術館で行われる、本から言葉を抜き出して詩や文章を作るイベントに本好きが集まる。他者の視点に触れたり、新たな分野の面白さに気付いたり、刺激的な機会になる。
「作って食べる」を楽しむ暮らし	性別を問わず、日常的に料理をする人が多くなった。料理して食べるという一連の行為が、脳の活性化や家族の団らんにつながる。食べ物の味や安全性に対する関心も高まった。
目が見えなくても迷わず安全に街を歩く暮らし	市内のいたるところに点字ブロックや音声案内が整備され、目の見えない人が安全に移動できるよう配慮されている。困っている人を見かけたらサポートする意識も市民に根づいている。
健康についての勉強会で情報交換する暮らし	近所のコミュニティスペースでは定期的に健康や病気についての勉強会が開かれる。専門家による助言や参加者どうしの情報交換を通して、住民の保健意識は向上した。
神社や公園で太極拳を楽しむ暮らし	商店街にある神社の境内や住宅地の公園で太極拳愛好会のメンバーが稽古をしている。年齢も性別も体格もさまざまな参加者らが、ゆったりとした動きの中で自分の心身と向き合う。
会社を辞めて居酒屋を開く暮らし	長年勤めた会社を定年退職し、または定年前に退職し、趣味や特技を生かして新たなフィールドで勝負する。市や商工会も、中高年による起業をサポートする体制を整えた。
シニア世代が短時間のアルバイトをする暮らし	体に負担が少ない短時間の業務をシニア世代に割り振るしくみがあり、多くの高齢者が社会参加しながら小遣いを稼ぐ。元気な高齢者が多くなり、勤労世代の負担が軽くなる。

今後の予定

各回テーマを変えながら、WSを展開しています。みんなで考える回もあと1回となりました。

回	日にち	テーマ案 / 時間 19:00 - 21:00
6	3/18(木)	編集会議 「100の暮らし」を整える

長期総合計画や未来の100の暮らしワークショップについては右記へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
〒985-8501 塩竈市旭町1-1 市役所本庁舎2階
塩竈市民総務部政策課総合計画策定室 担当：引地・石川
TEL:022-355-5284 | FAX:022-367-3124 | E-mail:soukei@city.shiogama.miyagi.jp

第5回ワークショップで生まれた“暮らしのカード”

WSの最中に生まれた「暮らし」をご紹介します。

町内会や小さなコミュニティがある暮らし



子ども、両親、老人の関わり場づくり。
町内の伝統、祭り、残すべき景色も共有したい。

わたしたちの周りに点在する
「新旧ランドマーク」に親しむ暮らし



タイトル わたしたちの周りに点在する
「新旧ランドマーク」に親しむ暮らし

解説
後継者に特化せず、よく探せば、町内には多くの
史跡・神社・花畑... 1つ1つが町の歴史や文化の宝庫に
なっている。新しいランドマークとして、その魅力を伝える
具体的な暮らしの取組
取 今後は「塩蔵の歴史」をテーマとして、親身になって取り組む

大人も塩蔵のことを学び子供達に伝える暮らし



タイトル 大人も塩蔵のことを学び子供達に
伝える暮らし

解説
子供達が学校で習った知識だけでなく
大人も塩蔵を知り子供に伝えていく

具体的な暮らしの取組
取 町内会に塩蔵を知ろう

何人でもできることが
現 10人くらいが
一緒に取り組む

塩蔵愛を醸成する暮らし



タイトル 塩蔵愛を醸成する暮らし

解説
具体的な暮らしの取組
取 何人でもできることが 現 人

活気に満ちあふれた塩蔵の最盛期を後世に伝える暮らし



タイトル 活気に満ちあふれた塩蔵の最盛期を後世に伝える暮らし

解説
尾島町(現在)の、花魁画、海水浴、民衆

具体的な暮らしの取組
取 何人でもできることが 現 人

身近に浦戸諸島の自然や食べものを楽しめる暮らし



神社や地蔵、海苔や牡蠣など浦戸ならではの自然や景色、食べ物があり、独特の雰囲気を感じられる空間